

## 北海道新エネルギー導入加速化基金による地域への支援の状況について

経済部環境・エネルギー室

## 1 新エネルギー導入加速化基金

エネルギーの地産地消の取組への支援等を通じて、新エネルギーの導入等の加速化を図るため、平成29年4月に創設。平成30年度は新たに約4億円を積み立て（5年で60億円）。

## 2 基金による地域への支援の状況

## (1) エネルギー地産地消事業化モデル支援事業

・市町村（または市町村と企業等とのコンソーシアム）が実施するエネルギーの地産地消の先駆的な取組に対し、設計から導入段階までを一貫して支援。

## &lt;認定事業計画の概要&gt;

| 認定年度 | 補助事業者  | 全体事業概要<br>【総事業費（補助額）】   | 主な事業内容  |  |
|------|--|---|---|--|
|      |  |   | H29年度   | H30年度  |
| 29   | 上士幌町<br>コンソーシアム<br><br>・上士幌町<br>・上士幌町農協<br>・(株)上士幌町資源<br>循環センター<br>・北海道ガス(株) | 「畜産バイオマスを核とした資源循環・エネルギー地産地消のまちづくり事業」<br><br>・地域エネルギー会社を新たに設立<br>・畜産版エネルギーマネジメントシステムの導入<br>・酪農家や一般住宅、事業所へ電気供給<br><br>【1,109,735 千円（500,000 千円）】              | ・バイオガスプラント用地測量<br>・地域エネルギー会社による電力供給の事業性検証等        | ・区域測量、ボーリング調査<br>・顧客管理等システム開発<br>・ガス利用、配管敷設調査<br>・地域エネルギー会社設立等 |
|      | 弟子屈町   | 「地熱資源を活用した『弟子屈・ジオ・エネルギー事業』」<br><br>・町民や町内の企業等が出資、参画する地域エネルギー会社を設立<br>・地熱井を掘削し市街地でバイナリー発電を行い、公共施設に電気供給<br><br>【672,962 千円（343,346 千円）】                       | ・熱供給事業の現状把握<br>・源泉調査<br>・経済性検討<br>・地域エネルギー会社設立等   | ・インフラ整備実施計画<br>・坑井掘削<br>・新規需要立地可能性検討等                          |
|      | 南富良野町<br>コンソーシアム<br><br>・南富良野町<br>・北海道ガス(株)<br>・南富良野町森林組合                    | 「平成28年8月激甚災害からの復興を目指すトリエネ・スマート・コンパクトタウン事業」<br><br>・地域エネルギー会社による電気・熱を供給、街区の電気・熱の最適利用を図る<br>・電気・熱は木質バイオマス、LNG、雪氷冷熱を利用して供給<br><br>【865,000 千円（500,000 千円）】     | ・事業範囲・事業採算性の検証等                                   | ・需要動向調査<br>・エネルギー施設等の実施設計等                                     |
|      | 稚内市  | 「稚内市における再エネを活用したエネルギー地産地消モデル構築事業」<br><br>・複数の公共施設の間で最適に利用するエネルギーマネジメントシステムを構築・運用<br>・発電した電気を水素に変換し、水素ステーションや公共施設などでの活用を検討<br><br>【1,434,800 千円（500,000 千円）】 | ・全体構想検討<br>・風車建設計画調査<br>・エネルギーマネジメントシステムに係るデータ収集等 | ・電力自己託送システム実施設計<br>・電力需要・発電データ解析<br>・水素利活用調査等                  |

| 認定<br>年度 | 補助事業者 | 全体事業概要<br>【総事業費（補助額）】  | 主な事業内容 |   |
|----------|-------|--|--------|---|
|          |       |  | H29 年度 | H30 年度  |
| 30       | 石狩市   | 「小規模集落における独立グリッド整備とブロックチェーン技術活用による新たなエネルギー自給・地域循環モデル形成事業」<br>・太陽光及び風力によるエネルギー貯蔵型熱電併給システムを設置<br>・地域防災力の向上を図るとともに、エネルギーマネジメントシステムを検討<br>【654,880 千円(499,880 千円)】 | /      | ・防災、地域コミュニティ拠点形成 FS 調査<br>・事業システム、採算性等の協議、検討等 |

・エネルギー地産地消の取り組みの拡大に向けたモデル事業等のPR

|   |   |
|---|---|
| エネルギー地産地消促進セミナー<br>開催日：平成 30 年 7 月 30 日<br>参加者：69 名 | 内容：「弟子屈・ジオ・エネルギー事業」の概要【弟子屈町】<br>「いこま市民パワー株式会社」の事業概要【奈良県生駒市】 |
|---|---|

## (2) 地域主体の新エネ導入支援事業

・市町村（または市町村と企業等とのコンソーシアム）が取組む設備導入等へ支援。

### ア 設備設計 3件

| 補助事業者                            | 事業費<br>(補助額)           | 事業概要  |
|----------------------------------|------------------------|---|
| 八雲町                              | 4,782 千円<br>(2,391 千円) | 基幹産業である酪農の家畜ふん尿に係る課題解決のため、集中型バイオガスプラント建設に向け、農業者へのヒアリング調査を行い規模等を明らかにし、設備を設計                    |
| 中頓別町                             | 6,724 千円<br>(3,362 千円) | 町内の家畜ふん尿の利用可能性を調査するとともに、バイオガスプラントの事業可能性検討を行い、集中型バイオガスプラント建設に向け、農業者へのヒアリング調査を行い規模等を明らかにし、設備を設計 |
| 広尾町<br>コンソーシアム<br>・広尾町農協<br>・広尾町 | 5,578 千円<br>(2,789 千円) | 町の基幹産業である酪農の課題解決とエネルギー利用の可能性検討のため、集中型バイオガスプラント建設に向け、農業者へのヒアリング調査を行い規模等を明らかにし、設備を設計            |

### イ 設備導入 1件

| 補助事業者 | 事業費<br>(補助額)             | 事業概要   |
|-------|--------------------------|--|
| 富良野市  | 81,054 千円<br>(40,527 千円) | RDF（廃棄物固形燃料）の利用に向けたボイラの最適化や温浴施設へ効果的な熱供給のための貯湯タンク等関連設備の導入により、RDFの地域利用モデルの構築を図る。 |

## (3) エネルギー地産地消スタートアップ支援事業

・エネルギーの地産地消の専門家である「地域新エネルギー導入コーディネーター」を次の市町村等に派遣。（派遣市町村数 10 件程度）

○希望する市町村に派遣し、地域における取組の掘り起こしや、市町村等の事業計画策定を支援。  
（派遣先は、市町村へのアンケート調査により選定中）

○「エネルギー地産地消事業化モデル支援事業」認定地域に派遣し、その取組へ助言。

## (4) その他

・現在、地域主体の新エネ導入支援事業（設備設計、設備導入、地熱井掘削）及び地域資源活用基盤整備支援事業について事業募集中。